

白熱のテストマッチ

7月18日、東京オリンピック本戦を見据え、テストマッチが行われました。新型コロナウイルス感染症対策のため市民が会場に入って観戦することはできませんでしたが、YouTubeで薩摩川内市チャンネルでライブ配信し、市内にとどまらず、アルゼンチンやベネズエラ・コロンビアなど全世界の約1万人の方々がテストマッチを視聴し、盛り上がりを見せました。

試合は二進一退の攻防を繰り返しながらも、アルゼンチン代表チームが試合の流れをつかみ、セットカウントは一気に3-0になりました。続く4セット目はベネズエラ代表チームが前セットの流れを断ち切る勢いのあるプレーで、25-23でセットを取り、テストマッチは終了となりました。

両チームがそれぞれ事前キャンプ中に調整し、本戦に向けた本格的な練習を終え、最終調整として行われたテストマッチ。緊張感、そして闘争心溢れる白熱した対戦となり、本番さながらの手に汗を握るテストマッチとなりました。



テストマッチ結果

| アルゼンチン | ベネズエラ |
|--------|-------|
| 25 | 23 |
| 25 | 22 |
| 25 | 14 |
| 23 | 25 |

テストマッチを終えた選手は、直前まで死闘を繰り返した敵同士とは思えないほどの笑顔で肩を組み合い、写真撮影に励んでいました。

テストマッチ後のインタビューにおいてアルゼンチン代表キャプテンのルシア・ノ・デ・セコ選手は、「いい試合ができた。準備は順調だ。本番はいい結果が出ると思う」と答えました。ベネズエラ代表キャプテンのホセ・マヌエル・カラスコ・アングロ選手は、「この2カ月間ブラジル代表チームなども練習してきた。薩摩川内市で最終調整したことを本番で発揮して、優勝したい」と語りました。

事前キャンプを終えて

ベネズエラ代表チームは7月19日、10日間の事前キャンプを終え、アルゼンチン代表チームは20日、8日間の事前キャンプを終え、東京・選手村へと出発しました。

ベネズエラ代表チームのメリソン・デリモア団長は、「心に薩摩川内市を持ちながらオリンピックを戦い、金メダルを取りたい」と感謝の言葉を述べました。

アルゼンチン代表チームのルシア・ノ・デ・セコ主将は「心のこもった温かいおもてなしを受け、充実した合宿を実施することができた。チーム一同自分の家のように感じている」と感謝の言葉を述べました。

田中市長、川添議長、川内なでしこライオンズクラブの方々は、「あなたの幸運を祈っています。私たちはあなたを応援しています」とスペイン語で記載された横断幕や国旗の手旗を持ってチームを見送りました。

実際にお見送りに参加した川内なでしこライオンズクラブの方々は、合宿の成果を發揮して勝ち進んでほしいとの思いを込めて、新田神社のお守り(勝守)を贈りました。「各地でコロナにより受け入れが中止になるなか、本市では、無事に事前キャンプが終了してよかった。これからも合宿に来ていただけたらうれしいです」と話しました。



オリンピック結果

(7月24日〜8月7日)

| 1次リーグA組 | | ベネズエラ | |
|----------|-----|-----------|-----|
| VS 日本 | 0-0 | VS イラン | 0-0 |
| VS ポーランド | 1-3 | VS カナダ | 0-3 |
| VS イタリア | 0-3 | VS イタリア | 0-3 |
| 1次リーグB組 | | アルゼンチン | |
| VS ロシア | 1-1 | VS ブラジル | 2-3 |
| VS フランス | 3-2 | VS チュニジア | 3-2 |
| VS アメリカ | 3-0 | VS アルゼンチン | 3-2 |
| 決勝トーナメント | | アルゼンチン | |
| VS イタリア | 3-2 | VS フランス | 0-2 |
| 3位決定戦 | | アルゼンチン | |
| VS ブラジル | 3-2 | | |

アルゼンチン
銅メダルおめでとう!
ベネズエラ
感動をありがとう!



男子バレーボールアルゼンチン代表チーム 監督 マルセロ・メンデスさん

薩摩川内市の皆さん、こんにちは。
2019年のワールドカップの時と同様に、東京オリンピック2020事前キャンプを受け入れていただき、ありがとうございました。皆さんのお力による準備のおかげで、私たちが必要としていた環境のもと、最高のトレーニングをすることができました。今回、幸運にもオリンピックという晴れの舞台上で銅メダルを獲得することができ、私たちにとって最高に満足の瞬間を味わうことができました。それと同時に、皆さんに対して一生忘れることのできない感謝の気持ちが込み上げてきました。今後さまざまな形で、今回のこの期間に得た友好関係を続けていけたらと願ってやみません。薩摩川内市の皆さん、本当にありがとうございました。

ゼネラルマネージャー ファクンド・リソネさん

まず始めに、薩摩川内市全ての皆さんに対し、感謝の気持ちをお伝えしたいです。東京オリンピック事前キャンプに対し、皆さんからの最強のサポートをいただきました。私個人の見解ではありますが、ここでの合宿によって安心してトレーニングに専念できたことで、チームの形が作られたと信じております。私たちの滞在中に、携わってくださったすべてのスタッフの方々にも本当に感謝しております。皆さんと培った関係を、今後も育てていきたいと願っております。本当にありがとうございました。

(通訳) 牧内 磨利央さん

東京オリンピック2020の事前キャンプに対し、通訳として携わることができたことをうれしく思いながらも、コロナパンデミックにより子どもたちと代表選手との直接交流ができなかったことは非常に残念に感じておりました。しかしながらも、今回のキャンプを通し、今後バレーボールだけでなく、多方面での交流の可能性が見い出せたと思っています。